

世界人類の助かりを目指す金光教

教会だより 『しのはら』



宗教法人 金光教篠原教会 〒 520-2301 野洲市小南 1842 番

TEL 077 (587) 1624 FAX 077 (587) 1867 Eメール [shinohara-ko373@hotmail.co.jp](mailto:shinohara-ko373@hotmail.co.jp)

4月17日、暑くもなく寒くもなく、清々しい天候の巡り合せを頂いて、天地金乃神大祭が大津親先生隣接教会の先生方のご奉列、ご参拝を頂いて、嬉しく、有難く、美しくご奉行になりました。



実になる信心

大津教会長

高阪忠裕師

(前半略 後半要)

母は、平成8年5月72才でお国替えいたしました。初代先生の家の初孫として誕生しました。上に男の子がいたのですが、二人とも幼くして亡くなったので、四条教会より父を迎へ、大津教会4代目として共に御用させて頂きました。明るく良く笑った人で、お広前の手がわりだけでなく、子供好きなのでガールスカウトのリーダーや教会のコーラス部をつくり、自分

もやっておりました。亡くなる2年前頃より、足首に力が入らないと言い始め、色々なことをしましたが、はかばかしくなく、難病専門と言われる病院を受診しました。診断結果は、余命1年。10万人に一人と言われる突発的に起こる難病で、徐々に運動神経が麻痺していき、手足は動かず、声を出し、物を噛み、排泄する、そのようなことすべてが自分ではできなくなり、最後には、息をすることもできなくなっていくという難病指定の病気という事でした。最後に残るのは、眼を動かすことだけ。幸か不幸か、死ぬまで頭脳は明晰、それだけに残酷な思いもいたしました。最初のうち



は車椅子で過ごしていましたが、最終的には、寝たきりの生活になりました。母は、段々と変ってくる病状に、自分の心情を綴っています。「すべての人に祈られて今日もご祈念に出る私。もう一度御用にと手を合わす。70年思うままに生かされて、後の命は神さまのみ手の中。入院を共に過ごした人々は、今いずこ。良くなることを祈る」初代のみ教えに「難病に罹りたる者は、我、この病に死ぬるという覚悟にて、我を殺して信心に生きるのである。難病は、難病ならば、清く尊く生きるのである」母は、このことを知ってか知らずか自分の状態をそのまま受け入れていたようです。親神様も「あんたなら、辛い、厳しい病も受けてくれるだろう。それだけの信心の徳をやってあるから共に凌いでいこう」そう仰って下さっているのではと思っておりました。先行きの不安は思いながら、母はこんな自分でも生かしてくださる神さまのお心と、一体となって行きました。少し入院しましたが、治療のすべもなく、自宅介護となりました。いつもお礼を忘れない母で、殊



に家内が、傍で看病してくれるのを楽しみにし、わが子が見舞ってくれていても、家内を待ちわび、「手足となって人形のような私を、優しく看取とる嫁に手を合わす」と歌にも詠んでいます。

2年間の闘病生活の中で幾度となく神様が、現れてくださった姿を見せてもらいました。透明のアクリルの文字盤で、眼の動きに合わせてスムーズに会話ができるようになったある日、信者さんの様子を聞かせてほしいと言うのです。こちらとしては、落語でも聞いて、もう、ゆっくりしてくれてもよいのにと考えていたのですが、ご信者さんの様子を聞かせてあげると、病室に掲げてある天地書付に眼をやりながら、両手を合わせてくれと言い、合わせてやると、眼をつむって、心中祈念をしておりました。

「みなさんの立ち行きを願っているの？」と尋ねると、まぶたで合図をしてくれます。こういうことが何度もありました。静かな 静かな、神様、金光さまへのお取次ぎでした。自分のことで精一杯であるはずなのに、人のことを願い神様の願いに応えようとしている母は、生きながらにして神になる稽古をしているのかな、母の生き甲斐は、神さまの願いに生きることであり、すべての人の助かりを願う神様と共にあること、そのほかに何もな



いんだなああと心底思わされていました。そんなことを思っておりますと、今度は笑顔を浮かべて、合掌している手を離してくれと言うので、その合わせた手を離し、戻してやります。

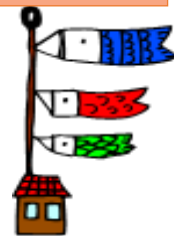
余命1年と言われた年を越して、平成8年正月 広前横にベッドを置いて、健康な時には、いつもお正月に、家内と二人で神前のお花を活けていましたので、見せてあげ、お正月迎えさせてもらったことを共に喜びお礼を申ししていました。そして、その年の5月10日金光さまの月ご命日に神様のもとに行かせてもらいました。天地の親神様も「ようここまでやってくれた、もういいよ」と思われて引き取ってくださったのでしょうか。本当に72才のきれいな神々しいお顔でした。この2年半は、どんな命の状態であっても、おかげの花を咲かせ、実になる信心を求めて、神さまの願いに生き切った母の尊い時間の積み重ねでありました。大きな尊い信心の遺産を遺してくれました。

初代先生のお心を今に現わし、実になる信心を求め、神さまの願いに生き、一人一人が実になる信心を目指して、ここからの信心を進めてまいりたいと思います。

実になる信心とは、  
一つ、わが身のおかけを受けたことに、とどまることなくすべての人が信心しておかけの花が咲きますよう人を祈り、伝え、導く信心。  
二つには、すべての人の助かり、立ち行きを願われる天地金乃神様、その願いにささやかでも応えさせて頂く信心。

## 御霊神様に心を向けよう

5日 教会祖霊殿におまつりされている、初代・二代先生とともに5月祥月命日を迎えられる御霊神様の月例霊祭をお仕えします。お繰り合わせ頂いて参拝させていただきます。5月祥月命日を迎えられる御霊神様は下記のとおりです



## おみたさまありがとう

増田治童男 吉田岩松老叟 南井あい刀自 菱田亀吉大人 江殿勲若子 万里川平右衛門之霊 馬場金治郎老叟 妙念禅心尼之霊 菱田伊太郎比古 島村寛郎子 宇野与三五郎老叟 辻澤とみ大刀自 増田伊之吉老叟 徳田鉄弥之霊 嶋村自由美真志刀自 村地いよ刀自 可知美代子童女 塚田源三郎父之霊 安藤秋三老叟 苗村政太郎真禰之翁 木村勇正大人 喜多馬之助老叟 奥野茂三大 塚田康雄朗子 苗村卯之助老叟 谷丈右衛門老叟 富田こま大刀自 中村男也彦 藤岡みな之霊 辻澤宮柱媼 苗村良一大人 増田伊三七老叟 丸岡芳雄之霊 中島栄子大刀自 宇野トク之霊 村地やゑ刀自

### 5月の行事予定

|    |   |                    |
|----|---|--------------------|
| 1  | 木 | おつたち参り             |
| 3  | 祝 | 彦根教会天地金乃神大祭        |
| 5  | 祝 | 月例霊祭(14:00)        |
| 8  | 木 | ご本部月礼参拝            |
| 10 | 土 | 生神金光大神月例祭 (14:00)  |
| 11 | 日 | 北里教会天地金乃神大祭(10:30) |
| 12 | 月 | 大津教会月例霊祭(14:00)    |
| 17 | 土 | 佐野教会天地金乃神大祭(14:00) |
| 20 | 火 | 大津教会天地金乃神大祭(14:00) |
| 21 | 水 | 天地金乃神月例祭(14:00)    |
| 26 | 月 | 女性部例会(9:30)        |

お供えなさる方  
〆切日 5月17日

### 5/8(木) 本部月礼参拝時

《姫路行き》 ひかり 533 《広島行き》《金光行き》

篠原 → 京都 → 岡山 → 金光  
7:01 発 7:42 着 8:01 発 9:13 着 9:30 10:03 着

私用外出;5/27・29



教会便りは、  
みんなのたより  
みんなで読んで  
信心の稽古!

